

# 三草が加東勢初の優勝

「あかふじ米・第23回兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会」(県軟式野球連盟、神戸新聞社主催)の北播アロック大会は12日、小野市王子町の大池総合公園野球場で、準決勝と決勝の計3試合を行った。抽選で勝ち上がった2チームの対決となった決勝は、三草スポーツ少年団(加東市)が東自由が丘ベアーズ(三木市)を6-1で破り、加東勢として初優勝を果たした。この2チームは、7月31日に開幕する県決勝大会に出場する。(篠原佳也、高田康夫)



## 東自由が丘との決勝制す

ジュニア  
あかふじ米  
軟式野球  
北播大会

【決勝】  
三草スポーツ少年団 (加東市)  
0201102  
0000010 16  
東自由が丘ベアーズ (三木市)

(三) 吉田匡一 森本(東)  
末野、近藤、木村、山田、  
二塁打 大畑俊(三)

【評】三草が好機を逃さず、東自由が丘を打ち崩した。二回に相手のミスで先制すると、四回は1番森本のスクイズ、五回は6番田尻啓の適時打、七回は7番大畑俊のスクイズで突き放した。

東自由が丘は六回、安打で出塁した1番後藤が内野ゴロの間に好走で生還したが、三草の吉田匡一に2安打完投を許した。

【準決勝】  
別所ファイターズ(三木市)  
00101010  
0002000 22  
三草スポーツ少年団 (加東市)  
0221000  
(6回時間切れ、抽選で三草の勝ち)  
(別) 近田一萩原(三) 松本一森本

【評】1点を争う好ゲーム。三草は別所のエース近田に1安打に抑えられたが、四回に四死球から好機を広げ、5番遠藤がスクイズを決めた。別所は三回に3番萩原の適時打で1点を先制。五回

投手の踏ん張り勝因

三草スポーツ少年団・森本剛士主将(11) 相手

投手の速球に食らいつくことしかできなかったが、こちらも投手が抑えてくれたのでリズムに乗れた。県大会ではミスをしないようにしっかりと声を出し、優勝を目指す。

県大会では優勝を

東自由が丘ベアーズ・橋本凌太主将(11) 県大

出場はうれしいけど、優勝が目標だったので、準優勝は悔しい。県大会では、最後まであきらめず、元氣よく、つなぐ打撃を心がけ、今度こそ優勝したい。



県決勝大会に進出する三草スポーツ少年団(上)と、東自由が丘ベアーズの選手たち

には、安打で出た7番西尾が生還し追いついた。

黒田庄少年野球団(西脇市)

0221000 33  
1200000 3

東自由が丘ベアーズ (三木市)  
(5回時間切れ、抽選で東自由が丘の勝ち)  
(愚) 大石一岡本(東) 末野一木村(三) 藤原陸(愚) 二塁打 大利(東)

【評】準決勝は2試合連続で抽選となり、東自由が丘が決勝に進出した。東自由が丘は初回、4番大利の適時二塁打で1点を先制し、二回には木村が2点適時打を放った。黒田庄は二回、藤原陸の適時三塁打などで逆転。4回にも1点を入れたが、突き放せなかった。

三草―東自由が丘 三草2回表 敵方で2点目のホームを踏んだ大畑俊と、喜ぶ森本―大池総合公園野球場